記者発表資料

平成２６年　５月　８日
三　春　ダ　ム　管　理　所

放流設備の点検、操作訓練を実施します

～放流設備の機能維持と確実な操作体制を確立し、出水期に備えます～

三春ダムでは洪水期を迎えるにあたり、放流設備の機能維持と確実な防災操作が行えるよう、放流設備の点検と非常用洪水吐（クレストゲート）の操作訓練を実施します。

１．概要

三春ダムでは、台風や大雨による防災操作及びダム下流河川への河川水補給を目的とした放流設備が設置されております。

このうちゲート設備※1は洪水等がない場合は常時待機状態にある一方、ひとたび防災操作の必要が生じれば迅速で確実な運転操作が求められております。このため、普段から適切な維持管理と操作体制の確立が必要であり、そのために放流設備の詳細点検及び操作訓練を洪水期前に実施することが重要です。

つきましては洪水期を迎えるにあたり、放流設備の点検と操作訓練を実施しますのでお知らせします。

※１：常用洪水吐ゲート（コンジットゲート）及び非常用洪水吐ゲート（クレストゲート）

２．操作訓練日　平成26年 5月13日（火）10時から
※訓練日時は、降雨その他の理由により変更となる場合があります。

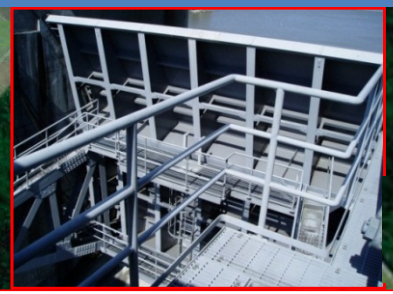
３．操作訓練場所　三春ダム管理所、クレストゲート室
※操作訓練時間は以下のとおりで予定しております。
・管理所での操作訓練：10時00分から10時20分
・クレストゲート室での操作訓練：10時30分から11時00分

４．放流設備点検　放流設備点検（詳細点検）は平成26年5月7日から6月10日の期間で実施しております。

【発表記者会　郡山記者クラブ】

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　三春ダム管理所
福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
電　話　0247-62-3145
ＦＡＸ　0247-62-3170
管理所長　小山（おやま）　幸男（ゆきお）（内線２０１）
専門員　今井（いまい）　新治（しんじ）（内線４９２）

三春ダム放流設備一覧



非常用洪水吐ゲート
（クレストゲート）
ダム計画における最大の洪水量を
放流するための設備
今回の操作訓練対象設備



常用洪水吐ゲート
（コンジットゲート）
洪水時におけるダム貯水池の
水位維持を目的として放流する
ための設備



左岸放流設備
ダム貯水池内の水質対策を目的として
ダム貯水池上流の大滝根川の流水を
バイパスして放流する設備



右岸放流設備
ダム貯水池下流に一定量の河川水を補給する
ための設備



貯水位低下設備
ダム堤体、法面等に異常が発生した場合、
点検・補修等が行えるよう、貯水池の水位を
低下させるための設備

放流設備の点検について

点検の目的

　放流設備の機能維持、信頼性を確保し確実な防災操作を行えるよう、普段の巡視点検では確認できない項目を設備に精通した専門技術者が各部の詳細点検を実施します。
　なお、点検にあわせ、油脂類補給などの整備も実施します。

放流設備点検状況



放流設備点検
（扉体表面、水密ゴムに傷がないか点検します）



放流設備点検
（ボルトに緩みがないか点検します）



放流設備点検
（操作盤絶縁抵抗値等を計測します）



放流設備点検
（設備が確実に動作するか確認します）



放流設備整備
（軸受けにグリス（油脂類）を補給します）



放流設備整備
（歯車のグリス（油脂類）を塗り替えます）

放流設備の操作訓練について

操作訓練の目的

洪水時、放流設備を迅速かつ確実に操作出来るよう、三春ダムに勤務する職員及び委託職員を対象に操作訓練を実施します。

操作訓練の内容

操作訓練は以下の内容で実施します。

①管理所での操作訓練（ダムコンでの遠方操作）

※通常は管理所内のダムコンにて放流設備を操作します。

②ゲート室での操作訓練（操作盤での機側操作）

※地震や落雷等により管理所内のダムコンにて放流設備が操作できない場合、ゲート室内の操作盤から放流設備を操作します。

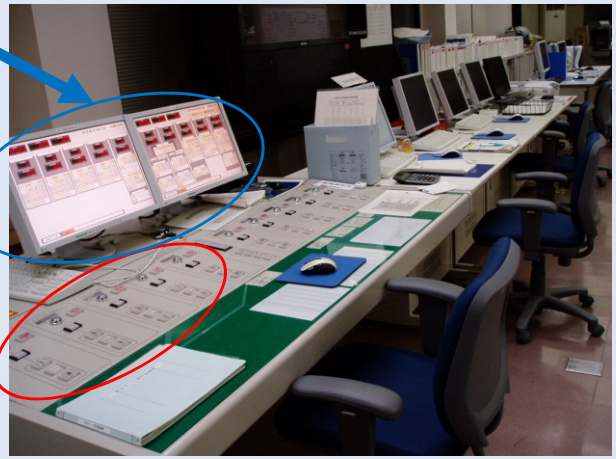
参考：放流設備の操作装置



ダムコン表示画面
（放流設備の状態を表示します）



ダムコン操作ボタン
（ボタン操作で開、閉、停止します）



管理所内ダムコン
（通常はダムコンにて遠方操作）



ゲート室内操作盤
（ダムコンで操作不可の場合に操作）



操作盤操作ボタン
（ボタン操作で開、閉、停止します）